

● 学校給食について

その他の質問

- ・ 道路交通法改正について
- ・ 子ども・子育て支援金制度について
- ・ 避難ルートのインフラ整備について



吉田将克 議員



議 学校給食は、学校給食法はもちろんのこと学校給食摂取基準に基づいて実施されている。この基準は全国的な平均値ではあるが、地域の実情に応じて配慮しているのか伺う。

また、昨年県外の学校給食の写真がSNSに投稿され、配膳時の見た目で非難を浴びることとなったが、献立作成の際に配膳の見た目も考慮されているのか伺う。

さらに、各小学校及び令和9年度開校の勝山中学校の給食室においてどのような熱中症対策を行っているのか、または行うのか伺う。

理 学校給食摂取基準は、国の基準を参考に算出されているが、本市ではこれを踏まえながら、栄養教諭等が地元産の食材を給食に取り入れるなど、地域の実情に応じた特色ある献立を作成している。

献立作成時の見た目については、各学校で給食の配膳写真をSNSにアップするなどの取組を行っており、出来上がりをイメージしながら色取りや品数、栄養価を考えている。おいしく見える、栄養価も考えた給食であることを保護者などにも理解していただくために、配膳の見せ方は重要だと考えている。

給食室の熱中症対策については、文部科学省の通知に基づき空調設備等の設置が指導されているが、本市では小中学校の給食室にはエアコンを整備しており、現在建設中の勝山中学校の給食室においても設置する。今後とも調理室で働く方の熱中症対策には万全を期していきたい。



給食の配膳写真（市内小学校のブログより）

● 小中学校におけるタブレット端末活用について
● 教育会館改修に伴う活動場所等について

その他の質問

- ・ 不登校等児童生徒について



森かよ子 議員



議 小中学校におけるタブレット端末を活用した、効果的な学習内容や授業での活用事例、家庭に持ち帰る際の学習内容を伺う。

理 タブレット端末の機能を活かし、資料等の閲覧や調べ学習、自分の作品・技能を撮影した振り返りなど、主体的な学びに資する活用を進めている。特に自分の考えをまとめ、意見を共有する場面では、全員が短時間に情報を共有し、話し合いの時間を多く確保できるため、思考力やコミュニケーション能力等の育成に向けた効果的な学習ができています。

家庭学習では「ミライシード」というAIドリルを活用しており、児童生徒一人ひとりの理解度に合わせた問題提示により自学自習に適している。LTEモデルの採用により、いつ・どこでも活用が可能である。

議 教育会館で活動している団体の活動内容と場所の適合性は、非常に重要である。利用する団体が円滑に活動できるよう、いつまでに、どのように決定するのか伺う。

理 定期的に利用する団体に対しては、活動に必要な部屋の広さや設備、利用時間などの精査を行い、代替施設として市民会館や福祉健康センターすこやか、市民交流センター等の活用を個別に提案している。教育会館の貸館が停止する令和8年11月以降の施設利用申し込みが開始される前に、定期利用団体の調査を行う予定。調査の結果、各団体の活動場所と時間が重複する場合は、皆様の希望を聞いた上で、具体的な代替施設の提案や利用時間の調整等を行っていく。今後とも皆様の活動が継続して行えるよう環境整備に努める。